

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 5 年 10 月 17 日（火）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 28 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎山口 泰祐 ○高岡 宏和 梅島 清香
中川 加津代 坂林 永喜 上田 武
曾田 康司 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
[議長] ※中川 加津代議長は委員として出席
[副議長] 酒井 善広
[説明員] 別紙名簿のとおり（薮下市民病院長が公務のため欠席）
[委員外議員] 山上 尊士 田中 勝文 出町 譲
[事務局職員] 笹島 永吉 高嶋 史恵 二口 崇
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[消防本部]

- 。令和 5 年秋季火災予防運動の実施について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 その他

- 。次回の本委員会の開催について

令和 5 年 11 月 16 日（木）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、当局の答弁内容は △ 、委員の答弁内容は □ で表示)

【米国フォートウェーン市との国際交流について】

○ 連日の報道内容を拝見し、産業、教育、スポーツに関して交渉が前向きに進んだことを高く評価したい。姉妹都市となって長年構築してきた関係性と現地を視察しながら交渉したからこそ、できたものだと推察している。未来に向けた高岡の発展と、教育やスポーツなどにおける国際交流は、これからの子どもたちにも価値ある取組になると考える。費用面についての意見が多いなか、姉妹都市との交流の本来の目的について、しっかりと伝える必要があると考えるが、今後の対応は。

△ まず評価いただいたことに感謝申し上げます。報道等でもあったとおり、市長は飛び込み等も含めて積極的に交渉にあたり、経済、教育などについて一定の成果を上げてきたと認識している。ただ、あくまで今後の方向性について合意をしてきたというところであり、具体化していくためには、実施にあたっての課題等を整理していく必要があると考えている。部局を横断する内容もあるため、連携しながら進めていきたい。事業を進めていく中で、成果や国際交流の意義というものをしっかりと市民の皆様に伝えていきたい。

○ 報道を見る限り、市長は激務だったように受け取れたが、市長だけが激務というわけではなかったと思う。同行した議長、民間の方、報道2社、一番苦勞をしたのは事務局ではないかと思う。今回の訪米は市民の関心がとても高く、ビジネスクラスについて批判的な意見を多く聞く。今ほど、部局間で連携し、事業を進めていく中で成果を見出していくという答弁があったが、これからの成果ではなく、市長がフォートウェーン市の方々とどのような話をしてきたのか、市民にお知らせする場が必要だと思う。また、議会に対しても報告をしていただきたいと思うが、見解は。

△ なかなか難しい質問だと受け止めている。現地では、今後の方向性などについて合意してきたが、それをもって報告するというのは難しいところがあると感じている。お伝えできる部分については、報道もされている。本市としては、やはり具体化していくということが必要だと考えている。残念なことに、客席の等級だけが先走りして話題になっているが、これから令和6年度当初予算の予算編成において具体化していき、国際交流の意義を示していきたい。

○ 市長が出発前にビジネスクラスを利用した分の成果を上げるといった発言をしている。したがって、成果が出る、出ないに関わらず、市長はできるだけ早く、どこでどういう取組を行ったという報告を市民にするべきである。マスコミが報道しているからいいだろうと言っているように聞こえるが、多額の費用を使って渡米しているので、そういう問題ではない。また、議会に対しても当然報告するべきと考えるが、改めて見解を聞かせていただきたい。

△ 国際交流のことについては、これだけ話題になったので、今後の記者会見の場など、市長から思いをお話する機会はあると思う。議会への報告の場ということになると、議会とも相談する必要があると思う。議会から求められれば、当然そういった場を作る必要があるかと思うが、どういった形ですべきかということについては、相談させていただきたい。

- ぜひ議会にも報告していただきたい。また、どこでどういう取組をして、現時点における市長としての感触、受け止め方も含めて、市民にアピールする必要があると思うので、その点もぜひお願いしたい。(要望)
- 今回の報道の中で、市庁舎のエスカレーターの映像がよく使われているが、エスカレーターが動いていないのは、財政難だからということではなく、エレベーターがあることや、SDGs の考え方で議論がされるべきだと思う。現時点で2階の高齢介護課にはクレームはきているか。
- △ 福祉保健部には、これといったクレームはきていない。
- 議会からの派遣について3点質問したい。議会からの派遣については、費用対効果の観点から議会の中でも反対する意見があった。令和5年8月末、立憲民主・社民議員団の会長が、議長に対し、議会から派遣するのであればビジネスクラスではなく、エコノミークラスとするべきだと主張し、またビジネスクラスで行くのであれば、9月定例会で内容も含めて取り上げざるを得ないと申し上げた。残念ながら、議長はエコノミークラスへの変更をしなかったというのが結論である。そこで1点目の質問として、議長がビジネスクラスを利用することに、議会の過半数が反対している状況にあったことを当局は認識していたのか。2点目は、それを認識したうえで議会への派遣要請を行ったのか。3点目は、なぜ議会に派遣要請をしたのか。
- △ まとめてお答えさせていただく。フォートウェーン市への派遣については、当初、市民交流という形で5年度当初予算に計上させていただいた。その中で、5年2月に、姉妹都市委員会の高岡の部会長が市役所にお越しになり、5年おきに行ったり来たりという交流だけではなく、日常的な交流について考えられないかといった打診があった。それから検討を進める中で、今回は市民交流という形ではなく、これからの交流のあり方を決めるトップ会談にしようという計画を立てた中で、今回の実施に至ったところである。議会に対しては、このような中で参加の可否も含めて投げかけたところであり、それに対し、議会の総意として、議長を派遣すると回答いただいたと認識している。議会の中でどのような議論があったかということは、公には聞いていないので、認識していないという状況である。
- 議会の半数以上の反対という根拠を示していただいたうえで質問をするべきだと思う。何をもって議会の半数以上が反対だったとするのか。
- 立憲民主・社民議員団の会長から、第一会派である未来創政会も反対であると聞いている。
- 議決をしたわけではなく、その過半数を示される根拠が、公のものではないと認識している。このため、その点については発言を取り下げいただき、質問を改めていただくなど、対応いただきたい。(意見)
- 未来創政会としては、今回の訪問は議会としての公式な行事がないと聞いていたため、議会からは派遣すべきではないという主張をしていた。先ほど当局の答弁で議会の総意という捉え方をしているように聞こえたので、総意ではないということ伝えたく発言させていただいた。(意見)
- このように議会がまとまっていない中で、議会に対して派遣の要請がされたわけだが、当局は議会の状況を把握していたうえで要請したのか。

- △ 意思決定の過程の中で会派間の議論があるということは想定されることだが、最終的に事務局を通じて議長を派遣するとの回答をいただいた。これを受けて議長に対して派遣依頼を出させていただいた。先ほど議会の総意と申し上げたのは言い過ぎだったが、議長を派遣するというのは議会としての決定であると認識している。
- 議会の今後のあり方も含めて重要と感じたので、質問させていただいた。(意見)
 - 先ほど議決の話が出たが、議会として派遣する、しないは議決を必要とするのか、しないのか。
 - 議決はしていない。
 - 議会として議決はしていない。第一会派である未来創政会も議会からの派遣は反対している。そのような中でどうして議長の派遣ができたのかということが問われている。議決はせず、話だけして議長がフォートウェーン市に行ったのがおかしい。これが事実である。(意見)

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（２８名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	藪 下 和 久
生活環境文化部次長	須 田 稔 彦	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
生活環境文化部次長 共創まちづくり課長	大 野 洋 靖	総務課長	上 森 智 美
市民生活課長	松 本 武 司	医事課長	島 田 輝
環境政策課長	室 谷 智		
共創まちづくり課 多文化共生室長	橘 智 香 子	消防長	浦 島 章 浩
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長	有 澤 智 文
市民課長	徳 市 直 之	消防本部次長 総務課長	布 橋 隆 男
文化振興課長	寺 井 知 恵	予防課長	田 中 秀 和
		警防課長	神 谷 勝 也
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	通信指令課長	沙 魚 川 文 春
福祉保健部次長	山 本 真 弘		
福祉保健部参事	長 田 由 美 子		
社会福祉課長	中 保 哲 憲		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野 村 岳 人		
高齢介護課長	関 原 総 臣		
保険年金課長	尾 崎 正 和		
健康増進課長	竹 田 裕 子		

